学校番号	２１２

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「最新　政治・経済　新訂版」（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・身の回りのことに注意深く興味をもつ。
・現代社会の仕組みを知ろうとする。
・マスメディアなど多方面から情報を収集しながらも情報に流されない力を養う。
・選挙資格を有する年代なので、社会人としての自覚をもつ。

２　学習の到達目標

１．広い視野に立って、民主主義の本質に関しての理解力を養う。
２．現代における政治、経済、国際関係において客観視できる力を培う。
３．現代の諸課題について主体的に考察することができる。
４．公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育む。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につけ、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代の政治、経済、国際関係に関わる事柄から課題を見出し、その本質や人間の存在価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察している。社会の変化や様々な考え方を踏まえ、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関する事柄や、人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業時の発問に対する回答	授業時の発問に対する回答 定期考査	プリント作業（資料読み取りなどの） 定期考査	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期中間	第1編　現代の政治	第1章　現代国家と民主政治 1 民主政治の成立 2 民主政治の基本原理 3 民主政治のしくみと課題 4 世界の主な政治制度 第2章　日本国憲法と基本的人権 1 日本国憲法の成立 2 日本国憲法の基本原理 3 自由に生きる権利(1) 4 自由に生きる権利(2) 5 平等に生きる権利 6 社会権と参政権・請求権 7 新しい人権 8 人権の広がりと公共の福祉	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:民主政治の本質や現代政治の特質、主権者都市憲法成立過程と基本的人権の内容を意欲的に追及しようとしている。 b:国民主権を原理とする民主政治の様々な特質について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で表現している。 c:現代政治の特質に関する情報や人権問題の時事的な資料を収集し、適切に活用できる。 d:憲法が普遍性を持つことに気づき、人権が生まれながらの権利であること、他者の権利を尊重することを理解し、その知識を身に付けている。	授業時の発問 資料読解 課題プリントやノートの提出 定期考査
1学期期末	第1編　現代の政治	第5章　日本の平和主義と国際平和 1 平和主義と自衛隊 2 日米安全保障体制の変化 3 21世紀の平和主義 4 日本の外交と国際社会での役割 第3章　日本の政治制度と政治参加 1 政治機構と国会 2 内閣と行政機能の拡大 3 公正な裁判の保障 4 地方自治と住民福祉 5 政党政治 6 選挙制度 7 世論と政治参加	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:平和主義の内を意欲的に追求しようとしている。国会、内閣、裁判所などの日本の政治機構や選挙などの制度にふれながら、主権者としての政治に対する関心を高めようとしている。 b:安全保障問題に関することや日本国憲法下での立法・行政・司法のあり方について、問題点や課題について考察しようとしている。 c:安全保障問題の時事的な資料や裁判員制度や衆議院・参議院の選挙結果を報道資料などから読み取り、自分の考えを表現しようとしている。 d:平和主義や安全保障、日本の政治制度について理解し、その知識を身に付けている。	授業時の発問 資料読解 課題プリントやノートの提出 定期考査

2学期中間	第1編 現代の政治 第2編 現代の経済	第4章 現代の国際政治 1 国際社会と国際法 2 国際社会の変化 3 国際連合と国際協力 4 第二次世界大戦後の国際政治 5 冷戦終結後の国際政治 6 軍拡競争から軍縮へ 第1章 現代の経済社会 1 経済社会の変容 2 経済主体と市場の働き 3 企業の役割 4 国民所得 5 経済成長と国民の福祉 6 金融の役割 7 日本銀行の役割 8 財政の役割と租税 9 日本の財政の課題	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

3学期	第2編現代の経済 第3篇現代社会の諸課題	第3章　現代の国際経済 1 貿易と国際収支 2 外国為替市場のしくみ 3 第二次世界大戦後の国際経済 4 国際経済の動向(1) 5 国際経済の動向(2) 6 発展途上国の諸問題 7 経済協力と日本の役割 第3篇　現代社会の諸課題 1 雇用と労働問題をめぐる問題 2少子高齢社会と社会保障 3 地球環境問題･資源･エネルギー問題	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:国際経済への関心が高まっており、現代日本の政治や経済の諸課題に対しては意欲的に課題を追及している。 b:国際経済の課題や現代社会の諸課題について、様々な視点で客観的な立場に立って考察し、話し合いやレポートなどによって自分の意見を表現しようとしている。 c: 国際経済の時事的事象の情報や現代社会の諸課題の情報を、マスメディアなどの報道や諸資料から読み取り、見出そうとしている。 d:国際経済や現代の日本が抱える様々な考えや立場を理解しながら知識を身に付けようとしている。	授業時の発問 資料読解 課題プリントやノートの提出 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c: 資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。